

## 様式 1 号

## 会 議 録

会議の名称	平成 23 年度第 3 回所沢市敬老会行事検討委員会
開催日時	平成 24 年 2 月 9 日 (木) 午前 10 時 ~ 午前 11 時 50 分
開催場所	市役所 6 階 604 会議室
出席者の氏名	安田敏男、小林正雄、大舘 守、本橋源一、高木健毅、山下善郎、杉本孝一郎、稲津昌幸、清水吉男、中村晋治、大島春彦、森田 仁、二村兼弘、山上三一、大庭三智子、黛浩一郎、新井佳子
欠席者の氏名	岡村淳子、須田静男
説明者の職・氏名	
議 題	1 . 平成 24 年度の統一祝品について 2 . 敬老会開催会場数について 3 . その他
会議資料	平成 23 年度第 3 回所沢市敬老会行事検討委員会次第 【資料 1】平成 24 年度の敬老会統一祝品について 【資料 2】平成 23 年度敬老会開催会場一覧 【参考資料 1】75 歳以上の高齢者実数及び推計値表 【参考資料 2】75 歳到達高齢者数推計値表 【参考資料 3】80 歳到達高齢者数推計値表 【参考資料 4】平成 23 年度敬老行事交付金算定表 【参考資料 5】平成 23 年度敬老行事統一祝品八ガキ到着数商品発送数一覧
担当部課名	保健福祉部長 内藤隆行 保健福祉部次長 本橋則子 高齢者支援課長 仲 法寛 高齢者支援課副主幹 内野正美 高齢者支援課主任 藤田真央 高齢者支援課主任 清水和彦  保健福祉部高齢者支援課 電話 2998 - 9120

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
司会	<p>開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援課長の司会進行により開会した。</li> </ul> <p>挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長より開会挨拶・保健福祉部長挨拶</li> </ul> <p>新委員紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松井地区代表委員</li> </ul> <p>「議事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成24年の統一祝品について</li> <li>(2) 敬老会開催会場数について</li> <li>(3) その他</li> </ul>
委員長	<p>それでは、平成23年度第3回所沢市敬老会行事検討委員会を始めさせていただきます。本日の会議においては、来年度の統一祝品について、また、開催会場数について、皆様より忌憚のないご意見を申し上げます。</p> <p>それでは、配付資料について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>配付資料に基づき、説明を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資 料 1 平成24年度の敬老会統一祝品について（茶）</li> <li>資 料 2 平成23年度敬老会開催会場一覧</li> <li>参考資料1 75歳以上の高齢者実数値及び推計値表</li> <li>参考資料2 75歳到達高齢者数推計値表</li> <li>参考資料3 80歳到達高齢者数推計値表</li> <li>参考資料4 平成23年度敬老会行事交付金算定表</li> <li>参考資料5 平成23年度敬老行事・統一祝品八ガキ到着数商品発送数一覧</li> </ul>
委員長	<p>ただ今、事務局より資料説明がりましたが、これについて、ご質問等がありますか。なければ、ご意見を申し上げます。</p>
委員	<p>是非、「お茶」を贈呈品としてほしいと思います、といいますのは松井地区では22年度・23年度のカタログギフトについて、様々な意見があり、品物があまり良くない、カタログに掲載された多数の商品からどれを選択していいか決められないというような人もいて、あまり評判が良くない。こうしたことから、市の名産である「お茶」を贈呈品としたほうが対象者に喜んで戴けると思います。以上です。</p>

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	ありがとうございました。続いて、ご意見をお願いします。
委員	富岡地区には茶の栽培農家がありまして、昨年の放射能汚染や現状について、大変厳しいとの情報は聞いているところです。 放射能ということに関しては、慎重に扱わなければならないと思います。今年度のお茶については、色々と問題がありました。ですから、お茶を贈呈品にするのであれば、24年度産に限定して扱ってほしい。以上です。
委員長	ありがとうございました。続いて、ご意見をお願いします。
委員	小手指地区です。地産地消の考えからは、贈呈品を「お茶」にすることは良いのではないのでしょうか。ただ、地区ごとに品質にばらつきのないようお願いしたい。以上です。
委員長	続いて、ご意見をお願いします。
委員	吾妻地区です。この件については、色々なご意見が出ていますが「お茶」でお願いしたいと思います。吾妻地区の北秋津等には、茶栽培農家があり、大変厳しい状況とのことです。是非、お茶で決めていただきたい。以上です。
委員長	ありがとうございました。続いてご意見をお願いします。
委員	柳瀬地区も茶栽培農家がありますので、「お茶」でお願いしたいと思います。以上です。
委員長	ありがとうございました。続いて、ご意見をお願いします。
委員	三ヶ島地区です。資料のとおり、茶業協会から「お茶」を購入し、贈呈品としていただきたい。以上です。
委員長	ありがとうございました。続いてご意見をお願いします。
委員	新所沢地区です。所沢の名産である「お茶」を贈呈品とすることに大賛成です。色々な場面で「お茶」は使用できますし、喜ばれると思います。以上です。

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	ありがとうございました。続いてご意見をお願いします。
委員	並木地区です。カタログギフトについては、並木地区では評判が良くなかったため、それに代わって「お茶」を贈呈することには賛成です。地産地消の観点から「お茶」が良いと思います。又、年寄りが「お茶」を嫌いになったという話は殆んど聞いたことがありませんので。ただ、一番心配なのは、安全安心をどう説明するのか、また、包装等で安全安心をどう表現して、贈呈するかということだと思います。以上です。
委員長	ありがとうございました。続いてご意見をお願いします。
委員	新所沢東地区です。昨年、私も統一祝品の対象年齢となり、カタログギフトを戴きましたが、商品に欲しい物はありませんでした。昨年の東日本大震災後、自治連でも募金活動を行い、多く募金が集まり被災地への支援ができました。同じように大きな打撃を受けた所沢の茶業についても、風評被害を市全体で吹き飛ばすような支援を行っていったら良いと思います。お茶の贈呈に賛成です。
委員長	ありがとうございました。続いてご意見をお願いします。
委員	皆さんの意見に賛成です。以上です。
委員長	ありがとうございました。続いてご意見をお願いします。
委員	私も「お茶」を贈呈することには賛成です。ただ、放射能汚染の問題がありますから、よく検査をして安全であるということに、太鼓判を押して贈呈できるようにしてほしいと思います。所沢と言えば、「お茶」が名産な訳ですから。昨年、私も 75 歳になり、カタログギフトを戴きましたがあまり良い商品は無かったように思います。
委員長	ありがとうございました。続いてご意見をお願いします。
委員	私としては、地産地消ということと、贈る側の真心のこもった品という 2 点を考えていただければ、品物は何でも結構です。

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	ありがとうございました。続いてご意見をお願いします。
委員	会長（長生クラブ）と同意見です。
委員長	ありがとうございました。続いてご意見をお願いします。
委員	各地区自治連会長の皆さんが賛成されたということですし、「お茶」という選定はとても良い選定であると思います。
委員長	ありがとうございました。続いてご意見等をお願いします。
委員	地産地消の観点から「お茶」を贈呈することに賛成です。
委員長	ありがとうございました。皆さんからのご意見を拝聴いたしました。全委員が平成 24 年度の統一祝品は「お茶」ということで、ご意見が一致しております。但し、「お茶」の品質については、24 年度産で安全を保證できるという表示があることなどの要望が含まれております。これらを踏まえ、平成 24 年度の統一祝品は所沢名産の「お茶」と決定してよろしいですか。また、茶業協会から購入するということがよろしいですか。
委員（全委員）	異議なし。
委員長	それでは全委員賛成ということで、平成 24 年度の統一祝品は、「お茶」に決定いたします。
委員	ただ今、決定した「お茶」については、75 歳・80 歳到達の統一祝品贈呈対象者が 5,500 人強となる訳ですよね、これだけの対象者に贈呈する訳ですから、茶のパッケージにも一工夫して、贈られた方々に喜んでいただけるような配慮をしてほしい。
事務局	今後、茶業協会と購入に関して、打ち合わせをする際に伝え、対象者の皆様に喜んでいただけるように考えてまいります。
委員長	今の提案については、今後、茶業協会とそのような段取りで打ち合わせをしていただけるということですので、よろしくをお願いします。

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>祝品の配付方法についてですが、22・23 年度のカタログギフトは郵送・宅配で送付するなど、各地区ではその方法に苦勞されていたようですが、できるだけ経費を掛けないよう、また、祝品が全対象者に届くように配付方法を各地区で検討したら良い。カタログギフトはハガキの回収率が 100%に至っていない、こうしたことから来年度の「お茶」については 100%に近い数値を各地区目指していけたら良いと思う。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。ただ今、本年度の贈呈品であるカタログギフトのハガキ回収率が 92%であり、平成 22 年度についても若干残っているとのことですので、この点について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>平成 22 年度分のカタログギフトハガキ回収率は、現在 94%となっております。本年 9 月で 2 年が経過しますので、その時点でカタログ業者に残っている全地区分の個数を把握し、何らかの品に替えて、各地区にお返ししたいと考えております。平成 23 年度分については、昨年 9 月から現時点までの約半年間で 92%のハガキ回収率でありますので、かなりの高い数値となっております。今後、本年 9 月までの 1 年度間まで、半年間ありますので数値は 3～4%程は増え、97%程度に達するのではないかと見込まれますので、その時点で、また、皆様にご報告をさせていただき、その後について検討してまいりたいと考えております。</p>
委員長	<p>よろしいですか。他に意見はございませんか。</p>
委員	<p>統一祝品が「お茶」に決まったわけですが、平成 22・23 年度は 75 歳 2,500 円相当額、80 歳は 3,000 円相当額でしたがこの相当額は「お茶」に決まっても変わらないのでしょうか、従前どおりでお願いしたい。</p>
委員長	<p>事務局より回答願います。</p>
事務局	<p>基本的には、本年度と同様の相当額を考えておりますが、平成 24 年度は本年度以上に贈呈対象者数が増加することが予測されるため、場合によっては、交付金算定表にあります式典費の額、1 地区あたり 65 万円を 60 万円にするというような工夫をして、基本的には本年度と同額の相当額を維持していきたいと考えております。</p>
委員長	<p>交付金の予算額の問題、贈呈対象者数の数値によって、検討していくという</p>

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>ことですが、基本的には本年度と同額の相当額を考えているということです。</p>
委員	<p>先程の包装についても、心のこもった包装をお願いしたい。</p>
委員長	<p>事務局より回答願います。</p>
事務局	<p>今後、茶業協会と購入の打ち合わせを行うに際し、ただ今のご意見を伝えていき、贈呈対象者の皆様に喜んでいただけるよう考えてまいります。</p>
委員長	<p>他にご意見はございますか。</p>
委員	<p>統一祝品が「お茶」になるのであれば、75歳と80歳到達者で金額の差異をつけず、同額程度の同じ品の「お茶」にしたら良いのではないかと。つまり、75歳と80歳で品質が違う、飲み比べたら味が違うというようなことがあるのはいかがでしょうか。</p>
委員長	<p>皆様のご意見を伺いたいと思います。統一祝品を「お茶」にするのなら、75歳と80歳到達者で金額の差をつけず同じ品で良いのではないかとのご意見です。これに賛成という方は、挙手をお願いします。</p>
委員	<p>賛成委員 14人（/17人中）。</p>
委員長	<p>賛成多数のため、75歳と80歳到達者の統一祝品は同じ物とすることに決定いたします。事務局はよろしいですか。</p>
事務局	<p>本検討委員会の決定に従うところでございます。</p>
委員長	<p>他にご意見等はございませんか。</p>
委員	<p>平成24年度の統一祝品贈呈対象者数は、約5,500人強が見込まれるが、所沢市茶業協会はこの人数、同じ品質に対応できるのか。</p>
事務局	<p>茶業協会の事務局は農政課であり、「お茶」が統一祝品として決定した場合を想定し、見込まれる対象者数・品質等については連絡済であり、対応可能</p>

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	であると聞いております。
委員長	他にご意見等はございますか。
委員	三ヶ島は、昨年度までは「お茶」を贈呈しておりました。私の知る限りでは品質検査から包装まで、確かな工程で製品化されていると思います。
委員長	心配はいらぬということですね。
委員	そういうことです。
委員長	他にございませんか。それでは次の議題（２）敬老会開催会場数について、皆様のご意見を伺いたいと思いますが、はじめに会場数の多い地区からご意見をお願いしたいと思います。
委員	並木地区は6箇所で開催しています。これまでの経過で申上げると、当初はミュージ1箇所で開催していきましようということであったのですが、対象者が参加しやすいようにというようなことを含め、色々な事由があつて、段々地区ごとに別れ、会場数3箇所開催、そして、現在の6箇所開催となったわけです。並木地区は場所が確保できない。ミュージも展示場しか取れない、しかもミュージは飲食ができない、学校も交渉したが利用できないというような状況の中で、今に至っている。会場については地区の中でも検討を重ね、絞りに絞って今の6箇所開催となっている。これを又、縮減していくことは困難であり、現状が適当と考えている。以上です。
委員長	ありがとうございました。続いて、お願いします。
委員	23年度は資料のとおり6箇所で開催し、大変好評でした。しかしながら、会場として使用していた泉町町会地区の「コミュニティ別館」が本年3月で取り壊しとなるため、平成24年度はこれに代わる会場がその周辺にはないため、困っています。又、青葉台地区については4町会があるのですが会場がないため、開催できず残念だったのですが、平成24年度はこの2つの地区について課題となります。以上です。
委員長	ありがとうございました。続いてご意見をお願いします。

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	三ヶ島地区は7箇所で行っていますが、区長会において、平成24年度は1箇所に纏めて開催していく方向性で考えており、その際には巡回バスを配車し、対象者が参加しやすいようにしていきたいと思っています。以上です。
委員長	ありがとうございました。続いてご意見をお願いします。
委員	吾妻地区は10箇所で開催しており、対象者が居住する地域で参加できる、会場が近いということで参加率も高く、喜ばれています。それぞれの地域で工夫をしながら開催しており、現状の開催会場・会場数で今後も継続実施していきたいと考えています。以上です。
委員長	ありがとうございました。続いてご意見をお願いします。
委員	新所沢東地区は、5年前までは小学校の体育館を使用して、1箇所で実施していましたが、会場に向かう途中のお年寄りが横断歩道にて滑って転倒し、怪我を負い、救急車を呼ぶというような事故があったことをきっかけに、町会単位の集会場を会場として開催するということになり、現在に至っています。1箇所で実施するということは、予算の合理的・効果的な使用ができるとは思いますが、安全に参加できて、町会単位のこじんまりとした中でも、「手作り」の敬老会といった雰囲気に参加した対象者に大変喜ばれています。開催会場については本人出席率と併せて、対象者が参加しやすいように検討していくことが必要だと思います。新所沢東地区としては、現在の開催形式が良いものと思っています。以上です。
委員長	ありがとうございました。他のご意見はありますか。
委員	山口は、山口公民館ホール1箇所で開催しました。平成23年度は75歳・80歳到達者の方々等に案内を行い、ホールが満員になる程の参加がありました。資料を見ますと、1箇所で行っている行政区が6地区(松井は2部開催)、多数会場で開催している行政区が5地区ありますが、各行政区では式典等は統一的に実施すべきであり、町内会・自治会単位で行われている敬老会については、自主的判断で行っているのだから、本検討委員会でそこまで言及できるのかどうか疑問です。そうすると、敬老行事交付金を、町内会・自治会単位で実施している地区への敬老行事交付金をどのように扱うかということになるかと思いますが、如何でしょうか。

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	続いて、ご意見はありますか。
委員	各行政区の地区ごとに何箇所で開催するかは、各々の事情が有るでしょうから止むを得ないと思います。しかしながら、敬老行事交付金の中の加算額については、開催会場数が多い地区は加算額も多くなるので、これについては如何なものかと思います。加算額を外し、その分の額を会場運営費に含めて配分した方が良くと思います。対象者1人当たりの単価が上がりますので。
委員長	ありがとうございました。他のご意見はありますか。
副委員長	ただ今の加算額を会場運営費に上乗せして交付金を配分する意見には基本的に賛成です。2年前までは、所沢は14町内会で敬老会を実施していましたが、中央公民館が装いも新たに完成しましたので、その後は中央公民館ホールを使用して1箇所で開催しています。しかしながら、この2年度間の参加者数は多数会場で開催していた時に比べ、減少してしまいました。こうしたことから、もう一度、各町内会で開催させてほしい、また、加算額も交付されるというようなことも話題となっております。式典費より加算額の方が多く地区があります。こうしたことから、加算額については再度検討したほうが良いと思います。
委員長	ありがとうございました。続いてご意見はありますか。
委員	富岡地区は、従前からずっと1箇所で開催しています。東西に長い地区でありますので、対象者に1箇所に集まっていただくのが困難な地区です。しかし、本年度、松井地区が巡回バスを配車して、参加者の送迎を行ったということを知りまして、是非、富岡地区でも取り入れていきたいと思っております。その費用は、1箇所に集約するための会場運営費でありますから、これらの費用を含め、円滑に運営されていくよう考えていただければ良いのではないかと思います。以上です。
委員長	ありがとうございました。他のご意見はありますか。
委員	開催会場数が多い地区は、本人出席率が多いのでしょうか、その辺をよく検討されたほうが良いと思います。
委員長	ありがとうございました。他にご意見はありますか。

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	式典等を行わない町内会・自治会、かたや実施する町内会・自治会では敬老行事交付金による配分の有無により相当の格差が生じている。こうしたことから各行政区で1箇所方式を取り、敬老行事交付金が公平に配分される方法を検討していくことが必要と考えます。
委員長	ありがとうございました。他にご意見はありますか。
委員	松井地区は従前3箇所で開催していましたが、現在は1箇所にして午前・午後の2部制で開催し、本年度はできるだけ多くの方に参加していただけるよう巡回バスを配車したことは、皆さんご承知だと思います。経費的には大変なのですが、色々と節約しながら何とかうまく出来ているところです。全地区的にも経費の無駄を省き、効率的・効果的な費用の使用方法を検討していくべきだと思う。また、開催会場数については、会場数が多いことで本人出席率が高いのであれば、その方法でよいのではないかと。
委員長	ありがとうございました。他にご意見はありますか。
委員	敬老行事交付金の配分方法について、加算額を含めて再度検討すべきと考えます。町会・自治会単位の開催は結構なことですが、問題は交付金の配分を如何するかということです。
委員長	ありがとうございました。他にご意見はありますか。
委員	それぞれ自治会単位で実施するという事は、地域のコミュニケーションを図るということでは基本ですが、公のお金を使用するのか、自治会のお金だけで実施するのか、ということをはっきりさせておいたほうが良いと思います。富岡地区では行政区とは別に、単一自治会として10数年間敬老会を開催しており、単一自治会のお金だけで実施しています。できるだけ行政区としての開催に集約していくほうが良いという意見です。以上です。
委員長	ありがとうございました。他にご意見はありますか。
委員	一番重要なことは、多くの対象者の方々に参加して戴き、どれだけ楽しく一時を過ごしていただくかということだと思います。ですから、対象者にとっては、自宅から会場までの距離が近いか遠いかということが参加する・しないを左右すると思います。敬老交付金の配分等は検討すべきだと思います。

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	<p>ありがとうございました。ただ今、皆さんから多くのご意見をいただきましたところ、各地区の開催会場数については問題ないということですが、開催会場数によって配分される敬老行事交付金の加算額等は検討を要するということだと思えます。この点等については、新年度に入ってから検討委員会を開催して、議題として検討するとしたら良いのではと思えますが、事務局の考えはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>敬老行事交付金の配分方法につきましては、平成 20・21 年度の本検討委員会におきまして、平成 22 年度以降の敬老行事交付金の配分方法・祝品贈呈対象者年齢の特定など、新形式の敬老行事について委員の皆様へに審議いただいた結果として、現在の敬老行事交付金算定方法等が決定したものでございます。したがって、今後、交付金の算定方法等について、適切な配分方法等は、本検討委員会の中で再度検討していただき、事務局としては委員会の決定に従いまして交付金の算定等を行ってまいりたいと考えておりますが、平成 24 年度につきましては、現時点で 4 月・5 月の中で本検討委員会を開催して決定していくということであると、自治連の総会・役員会等において、例年、敬老会開催について、ご依頼していることから、タイミング的には難しい状況かと考えます。</p> <p>開催会場数につきましても同様でございますが、各地区の開催会場の収容人数の大小、地域性等の問題など、また、敬老会を多数会場で実施している地区のほうが敬老会への参加者数は 1 箇所開催地区に比べて、かなり多いという実状を考慮していくことが必要と考えております。</p>
委員長	<p>事務局からただ今、話がありましたとおり、次回会議において、再度、この件については検討を行っていくということによろしいですか。何かご意見はありますか。</p>
委員	<p>ただ今の交付金の配分方法の件については、4 月・5 月の自治連の役員会等で敬老会の開催依頼を行うことから、早くにその方法を決定しないと 4 月・5 月の自治連での依頼に間に合わないということですね、それでは本日の会議にてその配分方法等を決定できれば問題ないということでしょうか。また、事務局としては、平成 24 年度は従来の算定方法で実施しなければならないということですか。</p>
事務局	<p>平成 24 年度について、従来どおりの算定方法で行わなければならないということではありませんが、平成 24 年度については式典費・加算額の額を</p>

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	減額し、会場運営費の増加を考えますが、基本的な交付金算定方法は従来どおりの方法としていただく方が平成 24 年度については各地区においても円滑に開催できるのではないのでしょうか、ということでございます。
委員長	ありがとうございました。皆さんからのご意見は各々の開催会場数については問題ないが、会場数に応じた加算額については課題であるということだと思います。式典費と加算額を含め、皆さんの意見をお願いしたいと思います。
委員	加算額については、付ける・付けない、又、加算額の枠額を減額するなどの考え方、方法もあろうかと思えます。事務局側から、これに関して、いくつかの提案をお願いしたい。
委員長	ありがとうございました。それでは事務局から提案はありますでしょうか。
事務局	平成 24 年度につきましては、対象者数も増加することから、式典費額を前年より 5 万円減じた 60 万円、加算額については 250 万円枠額を 180 万円にし、その減じた額は統一祝品費・会場運営費に上乘せするという事で、如何でしょうか。
委員長	事務局の見解はただ今のとおりです、事務局としては多数会場で開催する地区もあり、現時点で加算額を無くすということはず、枠額を減額するという事で平成 24 年度は対応したいということです。これについて、ご意見はありますか。
委員	平成 24 年度については、現行の算定形式で行ってほしい。平成 25 年度から検討してほしい。
委員長	ありがとうございました。ただ今のご意見は平成 24 年度の交付金の加算額は従来どおりで、検討するなら同 25 年度からの変更でいかがかということです。他にご意見はございますか。
委員	ご意見がなければ、皆さんのご意見を集約すると、1・加算額は現状のまま、2・加算額を無くしたほうが良い、3・加算額を減額、4・平成 25 年度から加算額の項目名を変更し検討する、という 4 つに集約できると思えますが限られた時間の中で 4 通りを纏めることは困難です。対象者の参加率を上げる、喜んでいただく敬老会を創造していくという前提の中で、事務局はどのようにお考えか。

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>先ほどお答えしましたように、平成 24 年度につきましては、4 月・5 月に自治連の役員会・定例会等がありますことから、前年同様の算定方法を取らせていただき、但し、式典費の額は前年度より 5 万円減額の 60 万円とし、加算額については先ほど 180 万円程に減額すると申し上げましたが、皆様のご了解があれば、さらに減額して 150 万円の加算額枠として算定させていただく方が、平成 24 年度の敬老会を円滑に開催していただくには良い方法ではないかと思っております、また、平成 25 年度以降については平成 24 年度の本検討委員会の中で委員の皆様にご検討いただきまして、決定してまいりたいと考えております。</p>
事務局	<p>委員の皆様には、様々なご意見をいただきましてありがとうございます。敬老会につきましては、できるだけ多くの皆様に参加していただきたい、各地区の特色・地域性は尊重してまいりたいという考えでございます。又、本検討委員会は各地区からの代表委員の皆様等で構成されており、これまでも委員の皆様からのご意見等は本検討委員会の決定事項等として、敬老会開催形式等に反映されております。市といたしましては、本検討委員会の決定事項等を重んじてまいりたいと考えております。</p> <p>ただ今、担当から申し上げましたように、3 月から 5 月に掛けては自治連・自治会等においては役員改選等もあると思われ、交付金算定方式等の変更により混乱等が生じることのないよう、平成 24 年度については現行方式により交付金算定・敬老会開催を行っていただき、交付金算定方式の見直し等については、平成 25 年度からご検討いただきたいと考えております。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。事務局の見解として、交付金算定方式等の見直しについては、平成 25 年度からということです。平成 24 年度については、対象者数の増加もあり、式典費・加算額の減額を行うこととし、基本的な算定方式・開催形式等は、前年度方式を踏襲するという事です。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>先ほども申し上げたが、各自治会・町内会単位で敬老会を実施することは大変良いことだと思うが敬老行事交付金をどのように配分するかについては検討を願いたい。又、統一祝品について、「お茶」で決まったことには大賛成です。とはいえ、75 歳より 80 歳は、より敬老として祝おうとする思想がこれまでの経過ですから、同一品ということで結構なのですが 80 歳にはこうした経過から何らかのプラスアルファ的なことを考え、検討願いたい。</p>

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	ただ今のご意見については、平成 24 年度の統一祝品において、何らかの形で反映させていただくよう、事務局の方で調整・努力をお願いしたいということで如何でしょうか。
事務局	委員の皆様には、様々なご意見等があらうかと存じます、事務局としましては心ばかりということになるかもしれませんが、75 歳・80 歳到達者の統一祝品につきましては、同一品であっても 75 歳と 80 歳でパッケージ（包装）を変える、装填する市長の「お祝いの言葉」の内容を変えるなどして、75 歳到達者と 80 歳到達者の方々への敬意を示し、細やかな配慮等を行い、贈呈対象者に対して、贈る側からの「心のこもった祝品」となるよう検討してまいります。
委員長	皆さんから、様々なご意見をいただきました。事務局からの見解もありました、又、皆さんのご意見を尊重していただくということですので、平成 24 年度の統一祝品については、このようにさせていただき、交付金の算定方法については、平成 24 年度は式典費・加算額を減額し、前年度形式を踏襲する。平成 25 年度以降については、平成 24 年度の本検討委員会の中で審議していくということにいたします。事務局、如何でしょうか。
事務局	交付金の算定につきまして、平成 24 年度は式典費額を前年度より 5 万円減額し 60 万円とし、加算額につきましては前年度 250 万円枠から 100 万円減額し 150 万円として、算定させていただきまして、削減した額分は統一祝品購入費・会場運営費に配分させていただくということでよろしいでしょうか。
委員長	委員の皆さん、事務局の提案、如何でしょうか。
委員（全委員）	異議なし。
委員長	それでは、全委員賛成ということで、平成 24 年度の敬老行事交付金の算定は、ただ今のとおり決定といたします。他に何かご意見等はありませんか。
事務局	次回の会議日程でございますが、現在、未定でございます。本日の会議結果を踏まえまして、次回会議では茶業協会との統一祝品に関する打ち合わせ事項等を皆様にご報告できるように致します。日程につきましては委員長と協議の上、決定し、皆様には文書によりご連絡いたします。以上です。

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	全議題が終了いたしました。皆さん、ご協力ありがとうございました。
司会	ありがとうございました。閉会にあたりまして、副委員長様よりご挨拶をお願い致します。
副委員長	挨拶
司会	皆様には、貴重なご意見等をいただきまして、誠にありがとうございました。又、ご多忙の中、ご出席をいただきありがとうございました。これをもって、本日の会議を終了とさせていただきます。